

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 総務課		重点項目	局内の連絡調整、予算および決算に関する事務を適正に行う。						
	課長名	河端 隆一		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,760,447 千円	人件費	目安の金額	課長
令和2年度当初予算額(B)			2,716,134 千円			係長	3		人	
増減額(A-B)			44,313 千円			職員	10		人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				土木職員費	土木職員費	—	2,658,665	2,422,232	-236,433
2				西部整備事務所(コムシテイ)管理経費	西部整備事務所に係る管理経費	—	7,794	8,329	535
3				建設総務一般	総務および用地管理に係る一般事務経費	—	13,205	12,440	-765
4				土地取得特別会計繰出金	土地取得特別会計への繰出金	—	29,934	30,175	241
5		○		<新>区画整理事業特別会計繰出金	区画整理事業特別会計への繰出金	—		152,700	152,700
6				東西整備事務所保有車両リース化事業	東西整備事務所が保有する車両の一括リース化	—	4,556	4,607	51
7				建設局保有車両リース化経費	建設局が本庁舎で保有する車両の一括リース化	—	1,980	2,964	984
8		○		<新>建設局しごと改革推進事業	ICTを活用した市民サービスの向上及び行政事務の効率化による「しごと改革」に取り組み「デジタル市役所」を推進するため、Web会議設備・タブレット等の導入を行うもの。	—		4,000	4,000
9		○		<新>区画整理特会職員費	区画整理特会職員費	—		123,000	123,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 管理課		重点項目	道路の適正管理					
課長名	田中 直子	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	285,314 千円	人件費	目安の金額	課長	1 人
				令和2年度当初予算額(B)	285,067 千円		101,500 千円	係長	3 人
				増減額(A-B)	247 千円			職員	8 人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				道路台帳整備	市の管理する道路の台帳図、調書を整備し保管する業務	—	157,922	158,793	871
2				道路不法占用物件除却 事業	道路交通の安全及び良好な景観を形成する上で支障となっている 不法占用物件を除却し、道路利用の適正化を図るとともに、安全 で快適な道路環境を保持するもの	—	1,370	1,370	0
3				屋外広告物規制事務	屋外広告物法及び条例に基づき、まちの良好な景観を形成し、若 しくは風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、広告物の 掲出方法・維持管理等について、規制・指導を行うもの	—	37,698	39,016	1,318
4				道路管理システム	道路占用管理業務をコンピュータ処理することにより、占用許可業 務の合理化、道路工事調整業務の迅速化及び事故防止対策の徹 底、その他道路及び占用物件管理業務の高度化を図るもの	—	63,653	63,470	-183
5				土木管理一般	道路管理事務に係る一般事務経費	—	23,824	22,665	-1,159
6			○	土木管理一般(臨時)	普通財産(全日本自由労働組合事務所)の処分に係る経費	—	600		-600

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 用地管理課		重点項目	地籍調査事業を計画に基づき着実に進めていく。						
	課長名	太田 真千子		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	102,134 千円	人件費	目安の金額	課長
令和2年度当初予算額(B)			102,196 千円			係長	5		人	
				増減額(A-B)	-62 千円			職員	14	人

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				地籍調査事業	国土調査法に基づき、一筆毎の土地の所在・筆界・面積等を調査・測量し、境界を明確化するもの。 調査の成果は法務局に送付後、登記に反映される。	国の国土強靱化基本計画に基づき策定された北九州市国土強靱化地域計画において、大規模自然災害発生後の復旧・復興を円滑に進めるため、ハザードマップ上の土砂災害警戒区域、浸水想定区域を含めた地域の地籍調査を積極的に推進する。 地籍調査事業の着実な推進のため、一筆地調査計画面積は0.72km ² を予定している。	102,196	102,134	-62

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 道路部 (道路維持課、道路計画課、 道路建設課、街路課)		重点項目 本市の成長戦略及び都市の強靱化に大きく関わる路線、早期に整備効果が発現される路線を重点的に整備する。また、通学路の安全対策などを着実に実施し、安全で安心な都市基盤の整備を推進するとともに、橋梁・トンネルの長寿命化、道路構造物の定期点検を計画的に実施し、効率的で適正な維持管理に取り組む。									
	課長名	宮野 謙剛、北島 徳隆 福田 訓己、南 孝昌		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	20,429,600 千円	人件費	目安の金額	課長	5	人
						令和2年度当初予算額(B)	26,594,567 千円		係長	17	人	
		増減額(A-B)	-6,164,967 千円			職員	49	人				

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			東九州自動車道等整備 促進経費	東九州自動車道建設促進協議会および国道3号黒崎バイパス建設促進期成会等の要望活動にかかる経費。	東九州地域間の交流促進や空港アクセス機能強化、黒崎地区の渋滞緩和による物流の効率化を図るため、協議会を通じ国等に積極的に働きかける。	3,740	3,365	-375
2				施設維持管理事業(指定 管理)	河内サイクリングセンターの管理運営業務に係る指定管理業務委託料	指定管理者と協力し、効率的・効果的な施設運営を行い、サービスの向上と利用促進を図る。	2,746	2,979	233
3				施設維持管理事業(公 共)	河内サイクリングセンターの施設運営及び維持管理経費		117	117	0
4				放置自転車対策事業(指 定管理)	自転車駐車場の管理運営業務に係る指定管理業務委託料		234,700	234,700	0
5				放置自転車対策事業	自転車駐車場の維持管理と放置自転車の撤去等に係る経費	市営自転車駐車場の利用実態や周辺の放置自転車の状況等を総合的に勘案し、安全・安心な駐輪環境の提供と効率的な自転車駐車場の管理運営、放置自転車対策に取り組む。	59,734	61,750	2,016
6				自転車利用促進事業(行 政経費)	コミュニティサイクル(シティバイク)のステーション運営及び利用促進に係る経費	現サービス(シティバイク)の終了に伴い、R3年度から新たに事業者を募集して開始予定であるシェアサイクル事業の円滑な実施と、利用促進を図る。	2,754	330	-2,424
7	○			防災・安全交付金(道路 維持)	道路舗装や法面等の道路構造物の補修を実施する。	—	1,016,000	50,000	-966,000
8		○		防災・安全交付金(道路 維持)(臨時)	長寿命化修繕計画に基づく橋梁・トンネル・モノレールインフラ部等の修繕・定期点検、舗装補修等の道路施設の補修を実施する。		2,503,000		-2,503,000
9	○			<新>道路メンテナンス 事業(道路維持)			1,940,000	1,940,000	0
10	○			<新>都市再生整備計 画(道路維持)			40,000	40,000	0
11	○			若戸大橋・若戸トンネル 長寿命化事業			250,000	250,000	0
12	○			<新>単独事業(道路維 持)	道路舗装等の道路施設の補修を実施する。		1,570,000	1,570,000	0
13		○		単独事業(道路維持)(臨 時)			1,509,000		-1,509,000
14	○			市民による地域のまちづ くり整備事業(道路維持)	身近な生活道路の環境整備や補修などの充実を図り、区における地域主体のまちづくりを推進する。		757,850	760,000	2,150
15				にぎわいの都市づくり(道 路維持)	都心・副都心及び主要駅周辺のエスカレーター・エレベーター等の適切な維持管理を行う。		336,000	340,000	4,000
16				公共施設等適正管理推 進事業	道路の適正な管理を実施するため、補助事業等と一体となって道路施設の長寿命化対策を推進する。		500,000	131,000	-369,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
17				道路一般維持(公共)	生活道路等の維持管理を実施するための経費。	市民からの通報や要望を踏まえ、緊急度を勘案した上で、効率的・効果的な維持管理を実施する。	1,346,940	1,354,039	7,099
18			道路管理施設維持(公共)	道路照明灯やトンネルなどの施設を維持管理するための経費。	608,471		581,471	-27,000	
19	○			若戸大橋・若戸トンネル維持管理事業	若戸大橋・若戸トンネルの維持管理を実施するための経費。		100,000	100,000	0
20	○			道路サポーター	道路の清掃や花壇の手入れなどを行う地域団体の活動を支援し、道路の美化につなげる。	市民と行政の協働による道路の美化清掃、道路異常箇所の通報などの活動により、良好な道路環境の維持につなげる。	17,071	17,071	0
21	○			恒見朽網線関連事業(道路改築)	新門司港、北九州空港移転跡地、臨空産業団地、北九州空港などの産業物流拠点が集積する周防灘沿岸部の物流機能強化を目的に恒見朽網線などの道路整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	335,000	857,000	522,000
22	○			国直轄事業負担金	国が実施する道路新設改良事業等に係る経費を一部負担する。		1,115,000	1,115,000	0
23	○			社会資本整備総合交付金(道路改築)	国道や地方道の道路新設改良を行う。		2,891,000	517,000	-2,374,000
24	○			<新>社会資本整備総合交付金(道路改築)(債務負担)				250,000	250,000
25	○			都市再生整備計画(道路改築)			11,000	293,000	282,000
26	○			単独事業(道路改築)			609,000	500,000	-109,000
27	○			<新>道路新設改良用地先行取得事業			道路新設改良事業用地の先行取得を実施する。		370,000
28	○			防災・安全交付金(交通安全)	通学路の安全対策のため歩道・防護柵など交通安全施設の整備や事故が多発する交差点の改良を行う。	誰もが安全・安心に通行できるみちづくりを目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	1,220,000	455,000	-765,000
29	○			単独事業(交通安全)	事故が多発する交差点の改良や歩道・防護柵など交通安全施設の整備を行う。		870,000	950,000	80,000
30	○			都市再生整備計画(道路景観)	小倉都心地区、黒崎副都心地区にふさわしい、景観に配慮した道路の整備を行う。	本市のにぎわいづくりやイメージアップに寄与する効果的な事業を実施するため、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	100,000	191,000	91,000
31	○			単独事業(道路景観)	世界の環境首都をめざし、景観や環境に配慮した道路の整備を行う。		161,000	150,000	-11,000

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
32	○			戸畑枝光線(街路)(重点)	企業進出が進む響灘地区、戸畑区臨海部、東田地区の物流機能強化を目的に戸畑枝光線の整備を行う。	事業効果の早期発現を目指し、関係機関との調整を行い、円滑に事業を推進する。	1,805,000	840,000	-965,000
33	○		戸畑枝光線(街路)(債務負担)	300,000			0	-300,000	
34	○		社会資本整備総合交付金(街路)(債務負担)	1,611,620	70,000		-1,541,620		
35	○		社会資本整備総合交付金(街路)(裁量)	1,428,380	2,098,293		669,913		
36	○		単独事業(街路)	416,500	402,600		-13,900		
37			公債償還特別会計繰出金	—	—		2,472,944	2,303,885	-169,059
38			街路事業用地先行取得事業	街路事業用地の先行取得を実施する。	—	2,000,000	1,630,000	-370,000	

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 公園管理課		重点項目	公園、霊園及び街路樹等の適切な維持管理の実施。						
課長名	本多 利明	コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,668,037 千円	人件費	目安の金額	課長	1	人
				令和2年度当初予算額(B)	2,662,578 千円		係長	2	人	
				増減額(A-B)	5,459 千円		職員	6	人	

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				有料施設等管理委託 (指定管理)	「響灘緑地」、「平尾台自然の郷」、「山田緑地」、「到津の森公園・ひびき動物ワールド」、「白野江植物公園」、「志井ファミリープール」、「勝山公園・あさの汐風公園」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	804,132	807,638	3,506
2				有料施設等管理委託 (財源配分)(公共)	市立霊園に係る管理運営経費	—	43,250	43,250	0
3				有料施設等管理委託 (財源配分)(その他)	市立霊園に係る管理運営経費及び有料公園施設の備品購入経費	—	15,889	14,161	-1,728
4				到津の森公園基金積立 事業	到津の森公園基金積立事業	—	15,028	20,855	5,827
5				到津の森公園動物導入 事業	動物の移送・購入	—	5,000	5,000	0
6				公園等維持管理事業(公 共)	市内全域における公園等の維持管理事業	—	1,532,241	1,532,152	-89
7				自然保護管理	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の維持管理事業	風致地区、特別緑地地区、自然公園等の緑を保全していくために、今後も維持管理を継続していく。	2,057	2,027	-30
8				公園等一般管理(維持& 内部管理)(公共)	市内無料公園の維持管理事業	歴史資産を活用した魅力的な空間を保つため、花見時期における公園の維持管理に積極的に取り組む。	224,026	225,689	1,663
9	○			公園管理活性化事業	公園愛護会事業	公園愛護会が活動しやすい仕組みづくりに継続して取り組み、団体数の維持・増加に努める。	6,143	6,076	-67
10				市立霊園使用促進業務	市立霊園有効利用のための未使用区画及び無縁墳墓調査等整理事業	—	4,732	4,735	3
11				菜園などの地域コミュニ ティ活性化に資する公園 活用事業	高齢者の健康づくりや世代間交流の場となる「地域菜園」や「花壇」など、地域のニーズに応じた整備事業	整備予定の公園(1件)について地元調整中。関係者の連携を図り、地域ニーズに合った整備を進めていく。	2,580	2,560	-20
12			○	今後の市立霊園のあり方 検討事業	今後の市立霊園のあり方について検討するための事業	—	5,500		-5,500
13				公園等巡視点検ICT化事 業	公園等巡視点検ICT化事業	—	2,000	894	-1,106
14			○	<新> 到津の森公園活 性化検討事業	到津の森公園の今後に向けた市場調査を実施する事業	—		3,000	3,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 緑政課		重点項目 ■環境首都にふさわしい緑のシンボルづくり（曾根・豊岡地区） ■集客力を高める公園の魅力づくり（皿倉山リニューアル事業ほか） ■公園施設のストック再編による市民ニーズの対応（桃園公園等施設再配置推進事業、大里公園、地域に役立つ公園ほか） ■安心安全のための公園施設の回収（皇后崎公園、公園施設長寿命化ほか） ■市民・企業・行政の協働による公園整備および管理運営（管理が容易な公園整備）								
	課長名	竹島 久美		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	2,589,750 千円	目安の金額	課長	1 人	
						令和2年度当初予算額(B)	2,575,110 千円		人件費	係長	3 人
						増減額(A-B)	14,640 千円			職員	6 人
						86,500 千円					

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1				皿倉山リニューアル事業	平成27年度に官営八幡製鉄所関連施設が世界文化遺産に登録されたことを契機に、観光振興をさらに向上させるため、皿倉山周辺の新たな魅力創出のための山頂エリアの施設整備や駐車場整備などを行うもの。	山頂エリアの遊具広場の整備を行う。	51,000	85,000	34,000
2				桃園公園施設再配置推進事業	桃園公園にあるスポーツ・文化施設の再整備について、広域的・長期的な視点から検討を行い、施設の再配置計画を策定するもの。	遊具広場、庭球場の設計を行う。	137,000	17,000	-120,000
3				曾根・豊岡地区公園整備事業	曾根・豊岡地区(9.7ha)において、グラウンド、野鳥観察エリアなどの整備を行う。	R5年度の全面供用開始に向け、遊具広場、用地買戻しなどを行う。	883,000	645,000	-238,000
4				登山道・遊歩道の整備	登山ブームや平成28年に施行された「山の日」に対応し、眺望の確保や標識の設置、危険箇所の改修を行うもの。	玄海遊歩道ほかでの除草、伐採などの整備を進める。	5,000	5,000	0
5	○			社会資本整備総合交付金(公園)	都市公園を整備し、市民満足度の向上を図る。	響灘緑地の子供の遊び場ゾーン整備、地域に役立つ公園事業を進める。	176,000	314,100	138,100
6		○	<新>社会資本整備総合交付金(公園)(臨時)	緑地保全地区用地の買入を進める。			45,000	45,000	
7				防災・安全交付金(公園)(裁量)	防災公園を含めた都市公園を整備・改修し、非常時、通常時を含めた安全性の確保を図る。	都市防災事業として皇后崎公園、大里公園に一時避難地としての広場整備、公園施設の長寿命化整備を進める。	259,000	0	-259,000
8		○	<新>防災・安全交付金(公園)(臨時)				392,500	392,500	
9	○			公園緑地事業(単独)(裁量)	住区基幹公園、都市基幹公園等の整備を行う。	—	386,600	426,100	39,500
10	○		公園緑地事業(単独)(臨時)	540,000			460,240	-79,760	
11	○	○	<新>公園緑地事業(単独)(債務)	0			18,000	18,000	
12				霊園整備事業	霊園の園路改修や樹木整理を行う。	—	42,500	41,300	-1,200
13				市民による地域のまちづくり整備事業(公園)	市民等の要望に応じて、公園の改修等を行う。	—	10,000	10,000	0

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
14	○			花と緑のまちづくり推進	市民花壇、公共花壇などの整備や都市緑化に関する普及啓発事業を行う。また都市緑地法第二条に基づく、「緑の基本計画」を推進する。	—	74,260	71,760	-2,500
15				大都市公園機能実態調査	国土交通省、大都市(21市)、(社)日本公園緑地協会の3者により、大都市が抱える課題の共同調査を行う。	—	2,000	2,000	0
16				水と緑の街づくり事業	水と緑の基金を原資とし、民有地緑化助成事業、保存樹診断事業を行う。	—	6,750	6,750	0
17		○		水と緑の基金積立金	水と緑の基金の運用益、寄付金を積み立てる。	—	2,000		-2,000
18		○		<新>世界体操・新体操に関する取り組み	「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の開催にあたり、会場周辺の公園の装飾や補修などの環境整備を実施し、来訪者に対するおもてなしを行う。	—		50,000	50,000

令和3年度 課の事業一覧

組織名	建設局 河川部 (水環境課、河川整備課、 神嶽川巨過地区整備室)		重点項目 小倉都心部の浸水対策については、引続き重点的に取り組む。 その他の地区についても、近年頻発する豪雨災害を踏まえ、計画的な河川改修を推進する。 平成30年7月豪雨により、浸水被害が発生した箇所を中心に治水能力向上を図る。						
	課長名	大貝 保志 太田 昭夫 船越 英明		コスト	事業費	令和3年度当初予算額(A)	3,782,489 千円	目安の金額	課長 3 人
						令和2年度当初予算額(B)	4,022,081 千円		
		増減額(A-B)	-239,592 千円	人件費	314,500 千円	職員 24 人			

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
1	○			重点河川(小倉都心部) 整備事業	新成長戦略上も重要な小倉都心部の浸水対策を推進するため、 神嶽川、紫川(MM区間)を重点河川と位置づけ、集中的に河川改 修を行う	—	168,000	141,000	-27,000
2	○		○	都市再生整備計画(河 川)	景観整備等のハード対策及び、賑わい創出等、まちの活性化を目的 としたソフト対策を行う。	事業終了	200,000		-200,000
3	○			都市再生区画整理事業 (河川)	巨過地区再整備にかかる土地区画整理事業を行う。	令和2年度中に国の事業認可を受け、令和3年度より実施設計等に着手 地元支援等のソフト事業を除く土地区画整理の本体事業については、令和3年度からNo.24 「巨過地区土地区画整理事業(特別会計)」に移行。	135,000	15,000	-120,000
4	○			豪雨災害から市民を守る 緊急対策事業	市内普通河川を中心に、河川の流下能力確保を図るため河川改 修事業の推進を行う	国の緊急自然災害防止対策事業債の事業期間延長を受け、河川整備等を引き続き推進	770,000	506,000	-264,000
5				河川管理施設等更新事 業	老朽化した河川管理施設等を適切に更新するための経費	—	68,000	68,000	0
6	○			防災・安全交付金(河川) (裁量)	市内を流れる一・二級河川について、管理者である福岡県と協議 の上、改修を行うもの	引き続き治水事業の根幹となる河川整備を推進	1,746,000	1,106,400	-639,600
7	○	○		<新>防災・安全交付金 (河川)(債務)			648,000	648,000	0
8	○			河川改良(単独)	補助事業河川の追加事業、普通河川等の整備及び河川のにぎわ い施設の整備を実施する	—	535,700	533,400	-2,300
9				市民による地域のまちづ くり整備事業(河川)	各区まちづくり整備課において、市民要望を反映した身近なまちづ くりの環境整備を行うもの	—	40,000	40,000	0
10	○			にぎわいの都市づくり(河 川)	紫川周辺の河川環境の向上および、街のにぎわいに資する水辺 の活用、周辺設備の充実を図るもの	—	26,590	26,600	10
11				河川環境啓発推進事業	河川愛護団体間の交流促進事業、河川事業のPR、川についての 知識や技術をもった「水先案内人」の育成などを行うもの	—	600	573	-27
12				水環境館維持管理 (指定管理)	「水環境館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	25,190	24,961	-229

No.	主要	新規	廃止	事業名	事業概要	R3年度に向けて強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	令和2年度 当初予算額 (千円)	令和3年度 当初予算額 (千円)	当初予算の 増減額 (千円)
13				水環境館維持管理(公共)	機器修繕費等、水環境館の維持管理経費	—	4,500	4,500	0
14				ほたる館維持管理(指定管理)	「北九州市ほたる館」の管理運営業務に係る指定管理業務委託料	—	12,752	12,752	0
15				ほたる館維持管理(公共)	「香月・黒川ほたる館」の管理、清掃、警備に関する委託費や、光熱水道経費	—	5,040	6,340	1,300
16				ほたる館維持管理(その他)	「北九州市ほたる館」および「香月・黒川ほたる館」の書籍等の拡充や老朽化した展示物の補修などにかかる経費	—	700	670	-30
17				ほたるのふるさとづくり	ほたる愛護団体への補助、地域における環境保全活動の指導者を育成する「ほたると水辺の環境学習会」の開催費など	—	3,835	3,746	-89
18				河川台帳整備事業	河川及び水路の管理のため、その台帳等を整備するもの	—	8,147	8,147	0
19				河川管理権限委譲	一・二級河川について、福岡県からの河川管理権限の委譲について必要な協議を行うための経費	—	496	496	0
20	○			河川維持事業(公共)	河川・水路の草刈、浚渫、護岸修繕工事等に要する経費および河川愛護団体補助金	新規創設された緊急浚渫推進事業を活用し、河川の維持浚渫を重点的に実施するための費用を増額	198,424	218,484	20,060
21				河川管理一般(公共)	河川情報システム等、災害時に現地情報を伝送するための設備の維持管理に必要な経費	—	10,557	14,125	3,568
22				河川管理一般(その他)	河川賠償責任保険料や河川管理に必要な協議を行うための経費	—	4,144	4,289	145
23				排水機場等維持管理事業(公共)	排水機場並びに防潮水門等の施設を適切に維持管理し、施設の正常な運転を行うための経費	—	58,406	58,406	0
24	○			<新> 且過地区土地区画整理事業	且過地区再整備にかかる土地区画整理事業を行う。	令和2年度中に国の事業認可を受け、令和3年度より実施設計等に着手。令和3年度から特別会計に移行し、国の補助や地方債を最大限活用しながら、一般財源の負担軽減を図る。		340,000	340,000
25	○			<新> 公債償還特別会計繰出金	—	—		600	600